

# 岡山県新見市坂本方言の立ち上げ詞

友定 賢治

## I. はじめに

1. 調査対象地: 岡山県新見市は、岡山市から北西へ80kmほど入った中国山地深くに位置する。坂本は、新見市中心部からさらに8kmほど北上したあたりにある山間の小集落である。山陽・山陰をつなぐ国道180号線が村の中心を通っており、車で、新見市中心部へは20分、岡山市へは2時間弱である。山陰（鳥取県米子市）へも、岡山市へとほぼ同時間であるが、買い物等ででかけることはない。
2. 調査年月日: 2004年8月15日、 2005年8月20日、 2005年10月8日、  
《2005年12月10日に確認のための電話調査》
3. 話者: 平野展男（昭和21年生 59歳）  
※年齢は、2005年12月調査時点のもの
4. 調査場所: 坂本地区コミュニティーセンター
5. 調査方法: 統一調査票による質問調査
6. その他: ①話者の説明は、( ) にいれて示す。  
②その他、話者の回答の様子や状況についての注記を記す。  
③報告者（筆者）の説明は、《 》に入れて記す。  
④アクセントは、棒引きで記す。

## II. 調査結果

I、自己の自発的な行動を立ち上げるために、自己に向かって発信する「立ち上げ詞」

(1) どっこいしょ。一休みしよう。

○ヨッコラショット。／オイコラショ。／ドッコラショノショ（ト）。／ヨイトコラショ（ト）。／ヨイショット。／イップク シチャロー。よっこらしょと。一服してやろう。

(2) どうれ。出かけることにしよう。

○サテ。／サーテ。／サテノー。／サテナ。／サリヤ（高年層）。／イッテ ミューカノ。さて、行ってみようかな。

(3) よいこらしょ。とうとう山の天辺に着いた。

○ヨッコラショ。／ヨッコラショ（ツ）ト。／ヤレコラショ（ツト）。／トートーテッペンエー チータ。よっこらしょ。とうとう天辺へ着いた。

(4) しまった。もうちょっとで落ちるところだった!

○シモータ。／アースカ。／モー チョットデ オチュータ。しまった。もう少しで落ちるところだった。

(5) くわばらくわばら。恐ろしかった!

○ヤレヤレ、キョートカッタ。やれやれ、恐ろしかった。

《「くわばらくわばら」に相当するような言葉がないとの回答。言うとするば、「ヤレヤレ」が思い浮かぶとのことである。》

(6) しめた! 今度の魚は大きいぞ。

○ヤッタ! /エッシ《疑いながらの回答》/エッシャ《疑いながらの回答》/コンドノ サカナー オーキー デ。やった! 今度の魚は大きいぞ。

(7) ままよ。飛び越えるしかない。

○ドーナリヤー、/ドーナローニー、/トビコエルシカー ニヤー。どうなるうか。飛び越えるしかない。

(8) なにくそ! 負けてなるものか。

○エーコナ、/エークソ、/ナンデ マケリヤー。えいくそ、何でまけるものか。

(9) しめしめ! 誰も気がついていない。

○ヤッタヤッタ、/モーケタ、/ダレモ キガ チーチャー オラン。やったやった、誰も気がついていない。

(10) ちえっ。つまらないなあ。

○ナンナラ、/ナンナラ、/ツマラン ノー。なんだい、つまらないなあ。

(11) ちくしょう! 仕返しをしてやる。

○コンナー、/コンナ ヤツァー、/ヤリカヤーチャル。この野郎、やりかえしてやる。

(12) くそっ! 覚えている!

○クツソー、/クソツタレ、/クソツタレガ、/オベートレ。くっそー、覚えている。

(13) おやおや、いったいどうしたの。

○アリアアリア、/アリヤーリヤー、/アリヤマー、/ドー シタン。あれあれ、どうしたの。

(14) えへん、えへん。吾輩は村一番の力持ちじゃ。

○エヘン、エヘン。ワシャー ムラデ イチバンノ チカラモチジャ。えへん、えへん。わしは村で一番の力持ちじゃ。

《「オホン」とも言うかもしれないが、「エヘン」も同様に、わざと言う場合のみ。土地の方言として、該当する言い方は思いつかないとのこと。》

(15) はてな、ここはどこだろう?

○サテナ、/サテノー、/コカー ドコジャローカ。さてな、ここはどこだろうか。

II、他者の発話に呼応して、応答の発話を立ち上げる「立ち上げ詞」

(16) はい、承知いたしました。

○ハイ、／ヘー（古）／ワカリマシタ。 はい、分かりました。

《「ヘー」は古老が言っていたように思うとの説明。》

(17) はい。宜しゅうございます。

○ハイ、／ヘー（古）／エーデス デ。 はい、いいですよ。

《「ヘー」は古老が言っていたように思うとの説明。》

(18) ええ、ここに居ます。

○ウン、／オン（稀）、／コケー オリマス デ。 うん。ここにおりますよ。

(19) んだ。私の傘です。

○ジャ。ワシノ カサジャ。 そうだ。わしの傘じゃ。

(20) さよう、さよう。あなたの言う通り。

○ジャ、ジャ。／ジャチ。／ジャチヤ。／アンタノ ユートーリジャ。 そうだ、そう  
だ。あなたの言うとおりで。

(21) ほいきた。おやすいご用です。

○ホイホイ、／ヘーヘー（高年層・稀）／ミヤシー ヨージジャ。 ほいほい、簡単な  
用事だ。

(22) よっしゃ。やりましょう。

○エッシャ。／エッシ。／ヤロー。 よっしゃ。やろう。

(23) よしきた。お引き受けいたしましょう。

○ヨッシャ。／エッシ。／エッシャ。／ヒキウケタゲラー。 よっしゃ。引き受けてあ  
げましょう。

(24) がってんだ。一緒に行きましょう。

○ヨッシャ。／エッシ。／エッシャ。／イッショニ イコー。 よっしゃ。一緒に行こ  
う。

(25) かつばのへだ。簡単だ。

○ヘノカッパジャ。ワキヤー ニヤー。 へのかつぱじゃ。簡単なことだ。

(26) いえいえ、とんでもございません。

○イーヤノー、／インヤノーヤ、／トンデモニヤー コトデス。 いえねえ、とんで  
もないことです。

(27) なんの、たいしたことではございません。

○イーヤノー、／インヤノーヤ、／チャーシタ コトジャー ニヤーデスケー。 いい  
えねえ、たいしたことではないですから。

(28) なあに、擦り傷(すりきず)ぐらい、すぐ治るさ。

○ナーン、スリキズヤコー ジキ ナオル テ。なあに、擦り傷なんかすぐ治るさ。

(29) なにさ、いつも調子の良いことばかり言って!

- ナンナラ。イツモ チョーシノエーコトパー ユーテカラ。なんだよ。いつも調子のいいことばかり言ってから。
- (30) いやはや、とんだ目に遭(あ)いました。  
○イヤー、エリヤーメニ オータデス ヨ。いやあ、えらい目にあいましたよ。
- (31) へん、勝手にしやがれ。  
○ナニュー ヨーリヤー、カッテニ セー。何を言ってるんだ。勝手にしろ。  
《「へん」に相当する言い方を思いつかないとのこと。》
- (32) なめるんじゃねえよ。こいつ!  
○バキヤー スナ。オドリヤー。馬鹿にするな。おのれは。  
《「なめるな」という言い方はしないとのこと。》
- (33) 冗談じゃない。口から出任せを言って!  
○ヤッチモニヤー。ヨーマツパー ユーテ。馬鹿なことを。でまかせばかり言って。
- (34) だまらっしゃい。出鱈目(でたらめ)ばかり言って!  
○ダマレ イヤー。/ダマレ チヤ。/ダマツトレ チヤ。/ウソパー ユーテカラ。  
だまらっしゃい。出鱈目(でたらめ)ばかり言って
- (35) そうは問屋がおろさねえ。黙っていらねえ。  
○ソーユーワケニヤーイカン。ダマツトレン。そういうわけにはいかない。黙って折れない。  
《質問文に該当する言い方は思いつかないが、同じような状況で言うとするれば、このような言い方か。》
- (36) うそもへちまもありやしねえ。我慢(がまん)できねえ。  
○ウソモクソモ アル カ。ガマン デキン。うそもくそもあるか。我慢できない。  
《質問文に該当する言い方は思いつかないが、同じような状況で言うとするれば、このような言い方か。》
- (37) 寝言は寝ていえ。このやろう。  
○ネゴトー ユーナ。コノ ヤロー。寝言を言うな。この野郎。  
《質問文に該当する言い方は思いつかないが、同じような状況で言うとするれば、このような言い方か。》
- (38) あたりきしゃりきのけつのあな。当たり前だ!  
《回答なし 該当する言い方は思いつかない。》
- (39) きみょうきてれつだ。それは変だ  
《回答なし 該当する言い方は思いつかない。》
- (40) ほほう、それは親孝行なお子さんですね。  
○ヘー、ソーカナ。/ホー、/ソリヤー オヤコーコーナ コジャ ナー。へえ、  
そうですか。それは親孝行なお子さんですね。

(41) まいったまいった。しかたがない。

○マイッタマイッタ。シカタガニャー。まいったまいった。しかたがない。

Ⅲ、他者との関係を立ち上げるために、他者との言語情報を結節する「立ち上げ詞」

(42) もしもし、すみません。役場はどこにありますか。

○ナント スンマセン。ノナント スマンガノー。ノヤクパー ドケー アルジャロ  
ー カ。なんと すみません。役場はどこにあるでしょうか。

(43) のうのう、旅の人。お立ち寄り下さい。

○チョットチョット、タビノ ヒト。ヨッテ イキンシャー。ちょっとちょっと、旅  
の人。よって行きなさい。

《女性は、「ナーナー」というとのこと》

(44) ほら、ご覧なさい。向こうに公園があります。

○ホリヤ、ミテミンシャー。ムコーエー コーエンガ アル デ。ほら、見て見な  
さい。向こうに公園があるよ。

(45) やいやい。こんなに朝早くからどこへ行くんだ?

○オイ。コニャーニ アサ トーカラ ドケー イクンナラ。おい。こんなに朝早く  
からどこへ行くんだ?

(46) よう、兄弟。これから何をするつもりだい?

○オイ、ケーカラ ナニュー スル ツモリナラ。おい、これから何をするつもりだ  
い?

《「兄弟」を使った言い方はしないとのこと。》

(47) いざ、さらば。

○ソレジャー、サヨーナラ。それでは、さようなら。

(48) ささ、ご遠慮無く、召し上がって下さい。

○サーサー、エンリョー セット タベテ オクレー。さあさあ、遠慮しないで、食  
べてください。

(49) さて、そろそろ一服しませんか。

○サテノー、ノサテナ、ノポツポツ イップク セン カヤ。さてねえ、そろそろ  
一服しませんか。

(50) これこれ、ちょっと静かにしなさい。

○コリヤコリヤ、チョット シズカニ セー。これこれ、ちょっと静かにしなさい。

(51) おい、こら。万引きをしてはいけない。

○オイ、コリヤ。マンビキュー シチャー イケマーガ。おい、こら。万引きをして  
はいけないだろうが。

(52) おどりゃあ。いい加減にしないか!

- ワリヤー、ノオドリヤー、ノ エーカゲンニ セー。わりゃあ、いい加減にしないか!
- (53) おのれ、裏切りやがったな。  
○オドリヤー、ノワリヤー、ノウラギリヤーッタ ナ。おのれ、裏切りやがったな。
- (54) どっこい。その手には乗らない。  
○オット、ソノ テニヤー ノラン デ。おっと、その手には乗らない。
- (55) どうだ、参ったか?  
○ドーナラ、マイッタローガ。どうだ、参ったか?
- (56) せいの、よいしょ!  
○セーノー、ヨイショ。せいの、よいしょ!
- (57) ようい、どん!  
○ヨーイ、ドン。ようい、どん!
- (58) いっせいの、で!  
○セーノー、デ。せいのう、で。
- (59) よいしょ、よいしょ、もう一息だ!  
○ヨイサ、ヨイサ、モー チョットジャ。よいしょ、よいしょ、もうすこしだ!
- (60) うんとこしょ、どっこいしょ。もう少しだ。  
○ヨイサ、ヨイサ、モー チョットジャ。よいしょ、よいしょ、もうすこしだ!
- (61) わっしょい、わっしょい、祭りだ、わっしょい。  
○ワッショイ、ワッショイ。わっしょい、わっしょい。
- (62) はじめはぐう、じゃんけん、ぼん! あいこでしょ。  
○ジャンケン、ホイ。イー ホイ。はじめはぐう、じゃんけん、ぼん! あいこでしょ。  
《「はじめはぐう」と言うのは最近になってからのこと。》
- (63) きをつけえ、まえへならえ、なおれ。  
○キョーツケー。マエー ナラエ。ナオレ。きをつけえ、まえへならえ、なおれ。
- (64) きりつ、れい、ちやくせき。  
○キリツ、レー、チャクセキ。きりつ、れい、ちやくせき。
- (65) ばんざい、ばんざい。やった、やった!  
○バンザイ、バンザイ。ヤッタ、ヤッター。ばんざい、ばんざい。やった、やった!
- (66) えいえいおう。頑張るぞ。  
○エイエイオー。ガンバル ゾ。えいえいおう。頑張るぞ。  
《最近の言い方で、土地独自の言い方はない。》
- (67) 中村君の誕生日を祝して、かんぱい。おめでとう。  
○ナカムラクンノ タンジョーピオ シュクシテ、カンパーイ。オメデトー。中村君の誕生日を祝して、かんぱい。おめでとう。

(68) やっほう、やっほう。

○ヤッホー、ヤッホー。

(69) ふれえ、ふれえ、白組。

○フレ、フレ、シログミ。ふれえ、ふれえ、白組。

《徒競争で走っている者に、「がんばれ」と声をかけて応援するときは、「ヤレー」という。》

(70) おにはそと、ふくはうち。

○オニワースト。フクワーウチ。おにはそと、ふくはうち。

(71) べらぼうめ、とんでも無い子だ。

○アンゴーガ。ノバカタレガ。ノナンチュー コナラ。馬鹿めが。なんという子だ。

(72) それみたことか、わんぱく坊主。

○ホリヤミー。ノホリヤミーノ。ノショーカラゴガ。それ見ろ。腕白坊主。

(73) ざまあ、みろ。いい気味だ。

○ザマーミー。エー ザマジヤ。ざまあ、みろ。いい気味だ。

(74) ちくしょうめ、ひどいことを言いやがる。

○コンチキショー。ヒデーコトー ヌカシャーガル。ちくしょうめ、ひどいことを言いやがる。

(75) このやろう。どうにかしてやろうか。

○コノ ヤロー。ドギヤーズ シチャローカ。このやろう。どうにかしてやろうか。

(76) たわけ、ふざけた事を言うんじゃない。

○オーアンゴー、ヨーマツパー ユーナ。ばかもの、ふざけた事を言うんじゃない。

(77) ばかやろう、いい加減なことを言うな。

○オーアンゴー、ヨーマツパー ユーナ。ばかやろう、いい加減なことを言うな。

(78) あなかま、静かにしなさい。

《該当する言い方が分からない。》

(79) しいいっ、静かにして!

○シーツ。シズカニ セー。しいいっ、静かにして!

(80) ちちんぷぶい、蛙、蛙、生き返れ。

《該当する言い方が分からない。》

(81) あっかんべい、鬼さん、こちら。

○アッカンペー、ノアカンペー、ノオニサン、コチラ。あっかんべい、鬼さん、こちら。

(82) あっばれ、お見事。立派です。

○ヤッター、ミゴトナ モンジャ。エリヤー モンジャ。やったあ、見事なものだ。立派です。

(83)でかした、でかした。日本一。

○ヤッタ、ヤッタ。ニツボンイチ。でかした、でかした。日本一。

(84) しっけい! すみません。

○アリヤー。スンマセン。あれっ。すみません。

(85) あばよ、達者でな。

○ジャーノー。ゲンキデ ノー。じゃあねえ。元気でねえ。

### Ⅲ. 総括 (まとめ)

- 1回目の調査時には、回答を得るのがきわめて困難であったが、2回目、3回目と回数を重ねることで、回答が得やすくなった。「立ち上げ詞」がすぐれて談話的な性格を有することを物語っている。自然傍受的な調査・談話調査を心がけていきたい。
- 「くわばらくわばら」「あたりきしゃりきのけつのあな」などのような、慣用化された言い方が回答されなかった。当該方言にもともとないものなのか、伝承されていないのか、特定の慣用的なものが方言として定着するような場がなくなったのか、といった観点からも考えていきたい。
- アクセント・イントネーション・プロミネンス・ポーズ等、音声の微妙なニュアンスを取り上げていくための文字化法則を設定していくことが求められる。

(ともさだ けんじ 県立広島大学)